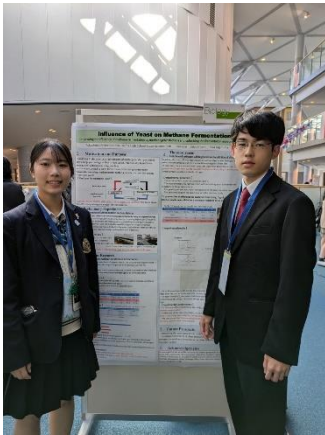


SSH 通信では、SSH に関する情報を随時お知らせします。

JSSF(Japan Super Science Fair)

SSH 校である立命館高校が主催する国際高校生科学シンポジウムです。今年は11月2日～6日の日程で開催されました。基調講演、研究発表、グループワーク、科学講座、校外研修等があり、本校からは人見太陽さん、柳沼里花さんが参加し、海外の生徒も含め多くの高校生と交流できました。英語での研究発表も大変評価していただきました。



科学の甲子園

11月10日(日)に福島県教育センターにおいて、科学の甲子園福島県大会が行われ、1、2年生各7名2チームが参加してきました。

県内より、13チーム94名が参加した中で、2年生チームは実験競技と筆記競技の2種目とも第1位となり、総合優勝を勝ち取りました。

優勝した2年生チームは3月21日からつくば市で行われる全国大会に出場します。

↓ 実験競技会場



生徒理科研究発表会県大会

期日：11月16日(土)、17日(日)

会場：医療創生大学いわきキャンパス

口頭発表部門に11件、ポスター部門に15件の研究班が参加しました。最優秀賞の生物班は来年の全国高等学校総合文化祭(かがわ総文)に出場します。最優秀賞「酵母が与えるメタン発酵への影響」
優秀賞 「月の観測によるクワールの第二法則の研究」
「マグネシウムと珪素を用いた二次電池の開発」
優良賞「動画データからの水噴射飛行軌道の取り出し」
「飯坂層と信夫山の凝灰岩」



ウメタンS 特別講義

11月15日(金)

九州大学薬学部教授 平井 剛先生

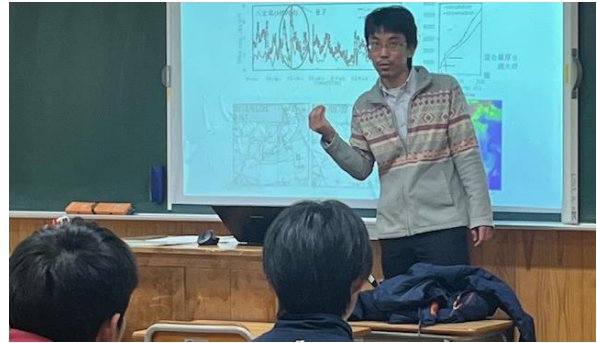
「分子を自在に創る：薬学部と有機化学研究の紹介」

薬学部は生命の神秘を解明する研究であること、生活環境を守る社会的な役割があることの話と、先生の研究である、自分で分子を自在に創り上げることができる“ヤミツキになる研究”の講義をききました。そのあと有機化学の実験を行いました。とても熱い講義でした。



高大連携講座

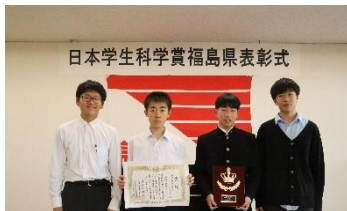
本校では2年次に全生徒が課題研究に取り組みます。次年度の研究に向けて、福島大学の先生方から課題発見の手法や研究内容について学ぶ講座です。11月27日に文系7講座、12月4日に理系8講座が開講され、各2講座ずつ受講しました。大学での研究内容や方向性を知る上でも重要な機会となりました。



マグネシウム班・地学班・放射線班受賞

第68回日本学生科学賞福島県審査委員会
県議会議長賞

「マグネシウムとヨウ素を用いた二次電池の開発」



読売新聞福島支局長賞

「飯坂層と信夫山の凝灰岩の関係」



第13回環境放射能除染研究発表会
優秀ポスター発表賞

「放射性セシウム最終処分材料化に向けた漂着
軽石の利活用法の提案」



▶今後の主なSSH行事予定

ふくしまサイエンスフェスティバル

日時：12月22日(日) 11:00~15:30

ところ：アオウゼ

本校SS部から6班、書道部、管弦楽部、
美術部が実験屋台を出します。ぜひ来てください

今年も素敵なポスターができあがりました↓

ふくしま
サイエンス
フェスティバル

令和6年12月22日(日) 11:00~15:30
in A・O・Z

●実験教室
日東紡 福島事業センター
「やわらかたい? グラスファイバーって何だろう?」
株式会社リビングロボット
「あるくメカトロウィングでロボットプログラミング体験」
リコージャパン株式会社
「3Dプリンター体験 作ってみよう!」
東北大学大学院生命科学研究所 教授 渡辺正夫 氏
「バナナからDNAを抽出しよう」

●実験屋台
構高校、福島東高校、福島明成高校、
千葉県立佐倉高校、福島大学化学研究会、
福島高校
「人工いくらでスノードームを作ろう!」
「寒い冬のおとも科学カイロを作ろう!」
「雪の結晶を作ろう」
「光るスライム」
「ロスフラワー ワークショップ」
「ませて、わけて、どんな色?」
「しじみ釣り」
「カラフルフレグランス」など

主催: 福島県立福島高等学校 SSH 福島市アクティブピアセンター・アオウゼ 協賛: 日東紡 福島事業センター Nittobo (申し込み不要・参加費無料!)

お問い合わせ先: 福島県立福島高等学校SSH部(024-535-2391)

会場: 福島市アクティブピアセンター・アオウゼ(福島市警備団町1-18 MAXG<小4階>)

指定設置者: 株式会社福島まちづくりセンター

デザイン: 福島県立福島高等学校 啓明先生